

令和4年度第1回岡山大学病院の医療安全に係る外部監査委員会議事要旨

日時 令和4年6月10日（金）15時30分～16時30分

場所 岡山大学鹿田キャンパス 管理棟3階 大会議室

出席者 【委員】

松山委員長，長谷川委員，清板委員

【岡山大学病院】

前田病院長，塚原医療安全管理責任者・医療安全管理部長，増山高難度新規医療管理部長，座間味医薬品安全管理責任者，大澤医師 GPSM，白井歯科医師 GPSM，小沼薬剤師 GPSM，丸山看護師 GPSM，郷原医療情報部長，仲井病院事務部長，上廻医事課長，和田医事課主査，徳田医事課主任専門職員，内田医事課主任

【法人監査室】

山下法人監査室長，長砂法人監査室総括主査，東法人監査室主査

1. 開 会

議事に先立ち，山下法人監査室長から外部監査委員会の各委員の紹介を行った後，塚原医療安全管理責任者から岡山大学病院の出席者の紹介があった。

続いて，前田病院長から開会の挨拶があった。

2. 議 事

(1) 同意署名の在り方について

大澤医師 GPSM から，資料に基づき，押印見直しのための制度改正及び岡山大学病院における同意書等の現状について説明があった。また，署名とした場合の医療者側の負担や治療の遅れ等の課題について，医療情報部を中心として改善を進めている旨，説明があった。

引き続き，大澤医師 GPSM から，医療現場において求められる対応のレベル及び電子カルテへのログインと文書発行の紐づきによる文書の真正性等について，岡山大学病院における現状を鑑みて外部委員のご意見をいただきたい旨，説明があった。

以上の説明に対し，松山委員長から新型コロナ患者からの署名徴取方法について確認があった後，委員長の指名により長谷川委員から，以下の意見があった。

- ・同意書等については様々な種類があるが，患者自身の意思確認が重要で，患者側の署名は必須であるが，押印，捺印までは必要ないとする。

- ・医師については，その場に同席してきちんと説明をして，いつどのような説明をしたのかが分かれば足りると考えられるので，署名するまでの必要はないとする。

次に，大澤医師 GPSM から，ログインした文書で印字されたものについて，押印と同じ扱いと考えられるかについて質問があり，長谷川委員から，以下の意見があった。

- ・同意書は患者の自己決定権を確保するために患者の意思確認をするものであり，作成権者は患者自身で足りると考えられるので，患者自身の署名があれば十分とする。

- ・患者と医師が作成権者ということであれば，医師の署名も必要であり，記名のみでは十分でないとする。

これらの意見等に関連して、大澤医師 GPSM から、電子カルテへのログインと説明者が異なる場合について質問があり、また、郷原医療情報部長から、作成された書類の説明者を書き換えた場合には、「印」と印字される対応を提案している旨、補足説明があった。

以上の説明に対し、松山委員長及び清板委員から、上記の対応に伴う問題の有無等について質問があり、郷原医療情報部長から、患者側としては問題ないと考えられ、医療者側としてはログイン者と押印者のどちらが説明を行ったのかを明確に出来る旨、説明があった。

加えて、前田病院長から、医療者の立場からは、医療行為の内容により、説明者を明確にしたい場合とそうでない場合があり、誰が説明しても一定の説明になる場合は印字で良いという考え方は非常に合理的であり、また、システム上はログイン者以外の名前で同意書の作成が出来るが、今後当院にて検討の余地がある、との説明があった。

以上の説明を踏まえて長谷川委員から、先ほどの見解は、最低限必要とされることであり、病院として説明者を担保しておきたい場合は、署名や押印もあり得るとの意見があった。

続いて、清板委員から、署名等について、医療行為の重みによるレベル分けを行っているかについて質問があり、前田病院長から、入院計画書やMRI 検査等については印字、手術等の大きな治療方針については署名が残っているのは、重みづけとして残しているということである旨、説明があった。

さらに、松山委員長から、救急搬送で意識がない者が搬送された場合の扱いについて質問があり、大澤医師 GPSM から、身元が分からない場合や本人の意志判断が明確でない場合は、救命を第一に行っている旨、説明があった。

3. 講 評

本日の監査結果に基づき、次のとおり講評が述べられた。

・松山委員長

意見聴取及び同意書等の現状について確認した結果、特に問題となる点は認められず、これ以上の対応を求めることは難しいと考える。今後、電子カルテ等、AI 化が進んだ場合は、対応が必要となる場合があるかもしれないが、現状では上手く運用されていると認められる。

・長谷川委員

同意書等を確認した結果、同意署名の在り方について、問題となるような点は認められなかった。説明医師の署名、押印等については、更に検討されているとのことであり、引き続き、検討を進めていただきたい。

4. 閉 会

閉会にあたり、前田病院長から本日の外部監査について謝辞が述べられた。また、委員の意見を参考に、今後も同意署名の在り方について検討し、医療安全の改善に益々努めていきたいとの発言があった。

以上